

医療・福祉専門設計事務所が提案する

大阪：7月22日(土)

病院 新築・増改築セミナー

13:30～17:30

地域ニーズにあった「医療・介護」を提供するために
新しい医療施設、介護施設づくりに取り組む最新事例を紹介

・ ケアミックス + 介護連携 + 高齢者の住まい

- ①病棟の機能を明確にしたケアミックス病院の建築的工夫
- ②在宅復帰率向上と在宅医療支援のための介護連携と高齢者の住まい
- ③医療法人が行う高齢者の住まいのさまざまな手法
[近接型]・[隣接型]・[複合型]・[併設型]

・ 地域に根ざす継続的なリハビリ戦略

- ①患者のADLに沿ったリハビリ実施のための病棟の工夫
- ②慢性期・維持期・回復期の継続的なリハビリ支援の取り組み

講師：ゆう建築設計
専務取締役 相本正浩

- 医療施設から高齢者施設への転換計画と既設施設の改修手法
- 医療法人が運営する低家賃の高齢者の住まいのつくり方
- 事業成功のための建築コストコントロール手法



株式会社 ゆう建築設計事務所

京都本社

担当：相本・河井

東京支店

担当：河津・矢木

TEL：075-801-0022

FAX：075-801-8290

TEL：03-6721-5430

FAX：03-6721-5431

くわしくは、弊社ホームページをご覧ください。 URL：<http://www.eusekkei.co.jp>

病院 新築・増改築セミナー 中小病院生き残り戦略！『建築的実践法』

日 時 : 平成29年7月22日(土)
13:30~17:30(受付開始13:00)
場 所 : 大阪市北区梅田1-12-12
東京建物梅田ビル地下1F
Tel: 06-6343-5109
参加費 : 3,000円(先着順で定員60名様)

定員になり次第締め切らせていただきます。ご参加希望の方は、法人名、ご住所、ご出席者名、ご出席者人数、お電話番号、ご連絡先メールアドレス等の必要事項を当社事務局宛にご連絡・お申込み下さい。(お電話・FAX・メールでお申込みいただけます)

Mail: office@eusekai.co.jp URL: http://eusekai.co.jp



■ セミナープログラム

13:00~	受付	●地域包括システム構築のための戦略的な医療・介護施設づくり ・急性期・回復期・慢性期の医療機能を建築的手法で支援 ・医療・介護・予防・住まい・生活支援の事業を複合化 ・運動器の分野に特化した整形外科病院が取り組むヘルスケア
13:30~15:15	第1部	
15:15~15:30	休憩	●医療施設から高齢者施設への転換計画と既設施設の改修手法 ・病院、高齢者の住まい合築手法、病床転換を考慮した施設づくり
15:30~17:00	第2部	●医療法人が運営する低家賃の高齢者の住まいの作り方 ・地域ニーズに合った住まいは何か？ ・低家賃の住まいのつくり方 ●事業成功のための建築コストコントロール手法 ・建築単価の動向とコスト削減の実例を紹介

■ セミナー講師の紹介

専務取締役 相本 正浩	1984 徳山工業高等専門学校 土木建築工学科卒業 1986 福山大学 工学部 建築工学科 卒業 1986 株式会社ゆう建築設計事務所 入社	プロフェッショナルプロジェクトマネージャー 日本コンストラクション・マネジメント協会 会員 福祉住環境コーディネーター
チーフアーキテクト 河井 美希	1997 京都府立大学 生活科学部 住居学科 卒業 2007 株式会社ゆう建築設計事務所 入社	一級建築士
チーフアーキテクト 玉井 英登	2002 近畿大学大学院 工業技術研究科 建築学専攻 終了 2002 株式会社ゆう建築設計事務所 入社	一級建築士

医療・福祉施設の設計を専門とし、各分野の専門スタッフが幅広い知識と経験をもとに企画立案、行政協議サポートから補助金取得業務等、事業推進のお手伝いをいたします。※ ゆう建築設計では、各分野別に各種セミナーを開催しております。

- 医療法人向けセミナー
- 透析医療機関向けセミナー
- 精神科病院向けセミナー
- 社会福祉法人向けセミナー
- 障害者福祉施設向けセミナー

株式会社ゆう建築設計事務所

本社 : 京都府京都市中京区堀川通錦小路上ル四坊堀川町617 TEL:075-801-0022 FAX:075-801-8290
東京支店 : 東京都港区西新橋2-23-2 日比谷パークビル7F TEL:03-6721-5460 FAX:03-6172-5431
大阪支店 : 大阪府大阪市中央区道修町4-5-10 サンビル6F TEL:06-6232-1533 FAX:06-6232-1536

地域ニーズにあった「医療・介護」を提供するために 新しい医療施設、介護施設づくりに取り組む最新事例を紹介

ポイント1

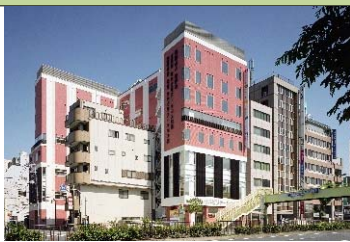
・ケアミックス + 介護連携 + 高齢者の住まい

- ①病棟の機能を明確にしたケアミックス病院の建築的工夫
- ②在宅復帰率向上と在宅医療支援のための介護連携と高齢者の住まい
- ③医療法人が行う高齢者の住まいのさまざまな手法
[近接型]・[隣接型]・[複合型]・[併設型]

ポイント2

・地域に根ざす継続的なリハビリ戦略

- ①患者のADLに沿ったリハビリ実施のための病棟の工夫
- ②慢性期、維持期、回復期の継続的リハビリ支援の取り組みと工夫

医 療（ケアミックス） 急性期→回復期→維持期→慢性期			
			
医療療養病棟・地域包括ケア病棟 回復期リハ病棟	一般病棟 地域包括ケア病棟	回復期リハ病棟	一般病棟・回復期リハ病棟 地域包括ケア病棟・緩和ケア病棟
リハビリテーション			
通院リハ：外来に配置 入院リハ：病棟別分散配置	健康増進施設 通院リハ：外来配置 入院リハ：病棟別配置	通院リハ：外来配置 入院リハ：一括配置	通院リハ・入院リハ 一括配置
介 護 連 携			
デイケア	老人保健施設 デイケア	老人保健施設 デイケア・デイサービス	（社会福祉法人・MS法人）
高齢者の住まい			
[近接型]	[隣接型]	[複合型]	[併設型]
移転前の病院を 高齢者の住まいに改修	隣接地 社福：デイサービス 高齢者生活支援ハウスを サ高住に転換	同一建物に グループホーム サ高住を合築 近隣に有料老人ホーム	同一建物に 住宅型有料老人ホームを併設

病棟設計のさまざまな工夫

1. 病棟の機能を明確にした建築計画
2. 病棟内にリハビリ機能を分散配置
3. 患者のADLを考慮した日常動作訓練の場をつくる
4. トイレ配置・仕様の検証、工夫
5. 入浴機能の検証
6. 立地を生かした病室計画：全室個室（個室風多床室）

■病棟内にさまざまなリハビリスペースを配置



● 医療施設から高齢者施設への転換計画と既設施設の改修手法

ポイント

- ①施設形態と高齢者の住宅制度を理解した改修計画とその手法
- ②事業形態と認可手続き、補助金手続き

● 医療法人が運営する低家賃の高齢者の住まいのつくり方

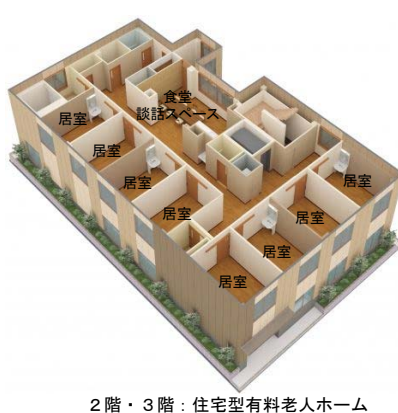
ポイント

- ①住まいの種類によって異なる「施設基準」と「制度」を理解する。
- ②高齢者住宅事業の目的を明確にし、サービス提供体制と一緒に考える。

■ 住まいの種類によって異なる「施設基準」を理解する

サービス付き高齢者向け住宅		有料老人ホーム		グループホーム
25㎡	18㎡	13㎡ (便所あり)	13㎡ (便所なし)	7.43㎡
施設種別によって居室の広さは、これだけ違う				

■ 運営にあわせて在宅サービスを組み合わせる



■ 2・3階 食堂・談話スペース



■ 1階 食堂・談話スペース

● 事業成功のための建築コストコントロール手法

ポイント

- ①基本計画で建築コストを徹底的に比較検証
- ②医療、介護の機能をイニシャルコストとランニングコストで比較検証

作品紹介 (医療施設)

■ 急性期から慢性期の患者ADL向上を建築的手法で支援

医療法人社団 大谷会 島の病院 おおたに



建物概要 鉄筋コンクリート造 地上6階建
延床面積：8261㎡（1床あたり面積：約86㎡）
診療科目：整形外科・外科・内科・泌尿器科
リハビリテーション科・小児科・リウマチ科
病床数：96床
医療療養40床・地域包括ケア病床20床・回復期リハ36床



【海のみえる病棟リハビリ】



【全ベッドに窓を配置】

急性期病院退院後の回復期から在宅医療を幅広く対応
地域のニーズから生まれた『自宅で快適な生活』を送られるよう日常生活をサポートするための施設づくりを行いました。

■ 病院と住まいを複合化、独自の「地域包括ケアシステム」を構築

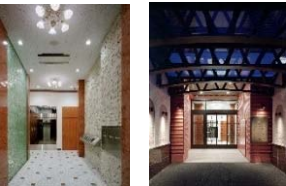
医療法人歎喜会 辻外科リハビリテーション病院



建物概要 鉄骨造 地下1階・地上8階建
延床面積：741.214㎡（増築部分）
診療科目：整形外科・リハビリテーション科・内科
病床数71床（回復期リハ 71床）+デイケア・デイス
ビス・グループホーム・サ高住・老人保健施設
（有料老人ホーム）



【併設されたデイケア】



【サ高住・デイ エントランス】

病院と住まいを複合化させ、医療・介護の大改革に対応しました。リハビリ機能を充実し、切れ目のない機能訓練を実現するとともに住まいを合致することで、独自の「地域包括システム」を構築

■ グループ施設で運動器に特化したヘルスケアシステムを提供

医療法人永広会 島田病院



建築概要 鉄骨造 地下1階・地上6階
延床面積：11926.69㎡（1床あたり面積：約135.53㎡）
診療科目：整形外科・リハビリテーション科・麻酔科・内科
病床数：88床
（一般病棟 43床・地域包括ケア病床45床）
老人保健施設・サ高住・デイス



【リハビリ室 視覚的にサポート】



【病棟廊下での歩行訓練をサポート】

はあとふるグループでは、健康管理、専門診療、リハビリテーション、高齢者ケア、訪問看護、在宅医療まで、複数の異なる機能を有するヘルスケア複合体としてまもなく新病棟が完成します。

■ サービス付き高齢者向け住宅へ転換可能な病棟計画

医療法人社団 厚済会 横浜じんせい病院



建物概要 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上5階建
延床面積：約2689㎡（1床あたり面積：53.78㎡）
診療科目：人工透析内科・一般内科
病床数：50床（うち地域包括ケア病床12床）
透析（40ベッド）



【病室】



【透析室】

高齢化する透析患者の長期療養型の病院として、入院透析と外来通院透析の患者の動線を振り分けできる計画を行うとともに「ゆう設計の超低風速透析空調」を採用しました。将来、病棟をサービス付き高齢者向け住宅へ転換可能な平面計画を行っています。

■ 敷地形状を生かしたスタッフ動線に配慮した放射状の平面計画

医療法人社団仙酔会 はりま病院



建物概要 鉄筋コンクリート造 地上5階建
延床面積：約5940㎡（1床あたり面積：66.74㎡）
診療科目：内科・消化器内科/外科・内視鏡内/外科・外科・整形外科・精神科・リハビリテーション科
病床数：89床



【検診センター待合】



【病院併設薬局】

三角形の敷地形状を生かし、スタッフ動線を短くするために放射状プランを提案しました。院外薬局が増えているなかで患者の利便性を優先的に考え病院併設薬局を設けました。建て替えにあたり専門分野の内視鏡検査部門の充実と健診センターを新たに併設しました。

■ 機能性を重視し効率的な平面計画を実現

医療法人社団愛明会 明石回生病院



建物概要 鉄筋コンクリート造 地上6階建
延床面積：約7396㎡（1床あたり面積：47.72㎡）
診療科目：内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器科・人工透析内科・放射線科・外科・消化器外科
整形外科・泌尿器科・麻酔科
リハビリテーション科
病床数：155床（一般病棟 78床（うち地域包括20床・重症者5床）・障害者病棟：77床）+透析（30ベッド）



【壁掛けエアコンを設置】



【開放的で明るい病棟の食堂】

機能性を重視し効率的な平面計画を追及した結果、1床あたり約48㎡で実現しました。設備等も将来の更新性やランニングコストを検証し4床室にパッケージエアコンを採用しています。

作品紹介

(高齢者福祉施設・サービス付き高齢者住宅・住宅型有料老人ホーム)

■ 社会福祉法人清和園 老朽化した軽費老人ホームをサ高住+特養へ建替え



【デイサービス】

- 併設施設
- ・地域包括支援センター
- ・居宅介護支援事業所
- ・デイサービスセンター
- ・認知症対応型デイサービス
- ・地域交流スペース

老朽化した軽費老人ホーム（A型）の建替えに伴い、時代の変化や介護保険制度の変遷により、サービス付き高齢者住宅を併設した地域密着型特別養護老人ホームへ施設形態を見直しました。地域包括支援センター、デイサービス、認知症デイサービスを併設し、幅広い高齢者へ対応できる施設を計画しました。

施設概要 鉄筋コンクリート造 6階建 延床面積：約3940㎡
サービス付き高齢者住宅36室 + 地域密着型特養29床 + 短期入所10床

■ 社会福祉法人若竹福祉会 八幡市地域包括ケア複合施設



【地域交流スペース】

- 併設施設
- ・定期巡回随時対応型訪問介護看護
- ・八幡市訪問看護ステーション
- ・地域交流スペース
- ・ふれあいカフェ

今後の超高齢化社会に向けてUR団地内に地域医療福祉拠点を整備するため、UR都市機構、八幡市、関西大学が基本構想を策定し、「八幡市地域包括ケア複合施設」が建設されました。あんしんサポートハウスを併設することで幅広い高齢者へ対応することができます。定期巡回随時対応型訪問介護看護を利用し、介護が必要になっても安心して住み続けることが可能です。

施設概要 鉄骨造 4階建 延床面積：2700㎡
高齢者あんしんサポートハウス20室 + 地域密着型特養

■ 社会福祉法人仙酔会 総合福祉施設「太子の郷」



【デイサービス】

- 併設施設
- ・居宅介護支援事業所
- ・訪問介護
- ・地域交流スペース
- ・コミュニティカフェ

施設の老朽化のため移転を行う際に、今後の地域ニーズと経営の安定化を目指し、地域の高齢者福祉複合施設としてさまざまなサービス提供施設を併設しました。町と一緒に「多少室特養」の新築整備に向けて取り組み実現させました。ひとつの施設で継続的な介護の提供を受けることが可能です。

施設概要 鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積：約6859.90㎡
広域型特養60床 + 地域密着型特養（多少室）20床
認知症対応型共同生活介護 + 小規模多機能施設 + デイ

■ 社会医療法人社団正峰会 住宅型有料老人ホーム「きょうらく」



【居室】

- 併設施設
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ・ヘルパーステーションきょうらく
- ・訪問看護ステーションきょうらく
- ・あざレア舞鶴 居宅介護支援事業所
- ・地域交流スペース

複数の医療・介護施設を運営する法人が「在宅復帰」を促進するために、機能性を重視し、無駄を徹底的になくし、低価格の住まいを提供するために低コストで建設を行った住宅型有料老人ホームです。住宅設備は、高齢者でも使いやすいものを優先的に採用しています。

施設概要 鉄骨造 3階建 延床面積：約871㎡
住戸数16戸 住戸面積13.72～13.89㎡（1住戸あたり面積：54.44㎡）

■ 医療法人社団 恵寿会 サービス付き高齢者向け住宅「恵寿」



【居室】

- 併設施設
- ・デイサービスセンター恵寿
- ・ヘルパーステーション まるお

クリニックを運営されている法人が地域の患者様のニーズに答えるために、低家賃で入居できる施設を建設したいとの要望で計画しました。初期投資を抑えるために過剰なデザインを避け構造計画、設備計画も徹底的なコスト比較をおこないました。入居者は1階に併設されているデイサービスに通いながら食事や入浴のサービスを受けることができます。

施設概要 鉄骨造 3階建 延床面積：1363.70㎡
約住戸数 30戸 住戸面積 18.32㎡（1住戸あたり面積：45.46㎡）

■ 特定医療法人桃人会 透析患者向け サービス付き高齢者住宅「やすらぎ」



【居室】

- ・1階 大食堂
- ・カラオケルーム

透析専門病院が病院隣接地に透析患者用サービス付高齢者向け住宅を建設。24時間スタッフ常駐で、車椅子利用率の高い透析患者様にも使いやすいように洗面、トイレ等の設備や居室内の通路幅にも配慮した設計を行っています。単身者用3タイプ（18㎡・25㎡・38㎡）2人入居者用（46㎡～56㎡）を計画。

施設概要 鉄骨造 4階建 延床面積：約1630㎡
住戸数33戸 住戸面積 18.48㎡～56.67㎡（1住戸あたり面積：49.40㎡）

2017 第7回 病院リニューアルセミナー 申込書

病院 新築・増改築セミナー

ご参加希望の方は、法人名、ご住所、ご出席者名、ご出席者人数、お電話番号、ご連絡先メールアドレス等の必要事項を当社事務局宛にご連絡・お申込み下さい。

(FAX・メールでお申込みいただけます)

Mail: office@eusekkei.co.jp

URL: <http://eusekkei.co.jp>

参加定員: 60名(定員になり次第、締め切りとさせていただきます)

参加費: 3,000円



場 所: 大阪市北区梅田1-12-12
東京建物梅田ビル地下1F
Tel: 06-6343-5109

日時: 平成29年7月22日(土)

13:00 受付開始・13:30~17:30 セミナー

(フリガナ) 貴法人名			
ご住所	〒		
電話番号		FAX番号	
部署名	役職名	ご芳名	メールアドレス
		(ふりがな)	
		(ふりがな)	
		(ふりがな)	
		(ふりがな)	

お問い合わせ先: (株)ゆう建築設計 京都本社 担当: 野村・延川
電話: 075-801-0022

(株)ゆう建築設計
FAX: 075-801-8290